



3月中旬ごろ～6月中旬（予定） 県道甘木吉井線（黒川西原地区）の通行止め

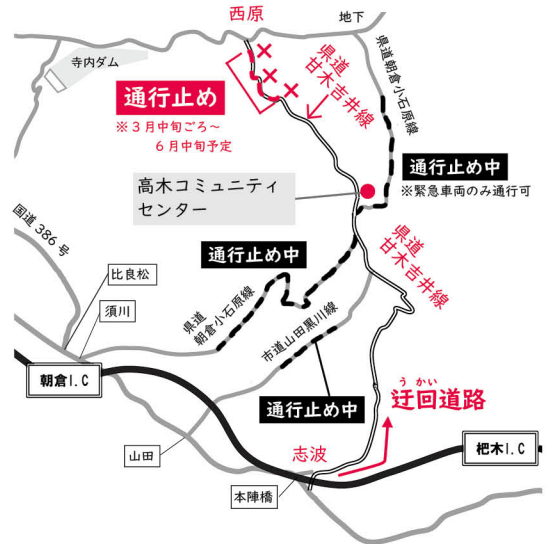
高木コミュニティセンター周辺へ行くには
杷木志波方面からの迂回道路を利用ください

平成29年7月九州北部豪雨で被災した道路の災害復旧工事のため、3月中旬ごろから3カ月程度、甘木吉井線の黒川西原地区で通行止めを行う予定です（規制開始日が決定次第、現地に看板を設置）。このため、高木コミュニティセンター周辺へは、杷木志波方面からの迂回をお願いします。

※黒川地区工事用車両は、別途運搬ルートを調整中のため志波方面へは迂回しません。

■全面通行止め区間…県道588号甘木吉井線（黒川西原地区）

問 朝倉県土整備事務所災害事業センター 災害道路課
(☎ 41-2597)



4月1日から 市被災者相談窓口と地域支え合いセンターを統合

4月1日から、支所の被災者相談窓口と地域支え合いセンターを統合します。

【甘木・朝倉センターおよび被災者相談窓口（8時30分～16時45分）】

■場所…朝倉老人福祉センター（社協朝倉支所）（☎ 52-0356）

【杷木センターおよび被災者相談窓口（8時30分～16時45分）】

■場所…朝倉市役所杷木支所（☎ 63-3077）

問 市復興推進室（☎ 28-7136）

復興の現場を間近に

赤谷川復旧工事を杷木小児童が見学

2月10日、赤谷川復旧工事（河川、砂防）現場で、杷木小学校6年生48人が工事の様子を見学しました。

児童たちは、工事関係者から復旧工事について説明を受けたほか、赤谷川と乙石川の工事現場を見ながら、砂防堰堤（さんぽうえんてい）の役割などを学びました。

見学した児童からは「いろいろな人が協力して工事をしているのがすごい」「緑豊かで自然が良い、明るい朝倉ができたらいいな」といった声が聞かれました。



北九州市の中学生が高木地区を支援

北九州市立石峯中学校「つながるプロジェクト」

北九州市立石峯中学校では、「つながるプロジェクト」という被災地の復興支援活動を行っています。

熊本地震をきっかけに始まった支援活動。平成29年11月からは九州北部豪雨復興支援活動として、新たに朝倉市の梨や柿などをバザーで販売する活動を開始。昨年2月には、生徒たちが実際に高木地区を訪れて、この取り組みを義援金とともに報告。また、被災地を視察し、災害の記憶を伝承していくことの大切さを学んでいます。

この活動は、昨年11月にも実施され、今も朝倉市の復興の「力」となっています。

